

令和5年5月26日  
向日市立勝山中学校  
学校運営協議会事務局

## 令和5年度 第1回学校運営協議会 協議結果

※本協議会を傍聴される方はおられませんでした。

1 開催日時 令和5年5月25日（木）14時30分から（15時30分まで）

2 開催場所 向日市立勝山中学校（図書室）

### 3 協議結果

※向日市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第9条により、本協議会の会長及び副会長を選出しました。

◇会長 高畑 幸子 氏

◇副会長 上田 良一 氏

#### (1) 令和5年度 学校運営について

##### ア 学校運営方針（校長から）

(ア) 学校教育目標について

(イ) 生徒像について

(ウ) 教育活動で大切にしている視点

(エ) 教育活動の重点

##### イ 年間行事

###### (ア) 学校行事

3学期制の終始業式及び主な学校行事（体育大会、文化祭等）の実施時期について説明

###### (イ) P T A行事

本部及び学級委員、広報委員の活動計画について説明

##### ウ 熟議（協議及び学校運営方針について承認）

委員：生徒像の2つ目、「あらゆる他者を尊重し、手を差し伸べ、共に成長しようとする生徒」とある。校長の説明時には、手を差し伸べたり、差し伸べられたりする対象は、すべての生徒とされていた。原文ではその意図が伝わらないのではないかと。

例えば、「手を差し伸べ」の前に、「互いに」という文言をいれてはどうか。

校長：再度原文を読み返すと、確かに一方的に手を差し伸べることを目指すように解釈できる。ご意見を踏まえ、文言修正したい。

委員：生徒像の3つ目、「社会の中で生きる1人として、地域に貢献できる生徒」とは、どのような生徒か、具体的な姿を教えてください。

校長：これまで地域に守られ育てられてきたことを自覚するとともに、例えば、地域に対して奉仕活動を行うなど、地域への感謝の気持ちを行動で表すことができる生徒をイメージしている。その際、生徒が主体となって活動することが大切であることも強調したい。

委員：我々のような図書ボランティアの大人に対しても、生徒は元気にあいさつをしてくれ、うれしい気持ちになる。ただあいさつができる、それだけでも地域への貢献ではないか。

会長：昨年まで取り組んでいた「ペットボトルキャップの回収」や「高齢者への手紙」などについても地域貢献だと思う。

委員：生徒像の1つ目、「夢を持ち、目標に向けて、粘り強く取り組める生徒」とある。そのことがこの像のテーマである〔自立〕と結びつきにくいだろうか。

校長：中学校は義務教育の最終段階であり、卒業後には社会の中で生きていく生徒もいる。新しい時代を、自立した人として幸せに生きていくため、夢を持ち、目標に向け粘り強く取り組む生徒を育てたい思いがある。

委員：地域の立場からは、人が自立するためには、夢を持つ前に周りから愛されているという実感を持たせることが大切だと考えている。

委員：教育活動で大切にしている視点①「生徒ファースト」の説明時に、教育環境のユニバーサルデザイン化を入れていただいていることは大変良いことだと考える。限られた教室空間に多くの生徒が活動しているため、掲示物が整理されていたり、教員が板書方法を工夫されたりすることは、すべての子どもたちにとって安心して過ごすことができる空間につながると思う。

会長：これまでの協議を踏まえ、また、次年度以降文言修正することも含め、本年度の学校運営方針として承認するかを諮りたい。いかがか。

委員：(満場一致で)承認する。

## (2) その他 (非公開対象)